

国内外のホットスポット接続を視野に 企業向けIP-VPNローミングサービス開始

モバイルインターネットサービスが普及する中、グリック インターナショナル コーポレーション (GRIC) の提供するローミングサービスが企業から熱い注目を集めている。そのキーワードは「低コスト」と「優れた利便性」にある。IP-VPNとホットスポットの連携で、モバイルオフィスが実現されようとしている。

GRICはすでに、世界150カ国以上で約450社のISPや通信事業者と提携し、国際ローミングサービスを運用している。GRICが提供するの、クライアントがローミングサービスを提供する際に必要となる、ユーザー認証・課金・決済のためのネットワーク管理ソリューションだ。現在、GRICが運用するアクセスポイント数は全世界で1万5000カ所以上におよんでおり、日本でも「@nifty」や「BIGLOBE」といった約30社の大手ISPが同社と提携し、ローミングサービスを提供している。そうした中、GRICは日本市場において、大きく2つのフィールドにフォーカスをしたビジネス戦略を打ち出し、さらなる飛躍を遂げようとしている。

IP-VPNでセキュアな通信

GRICが力を注いでいるビジネス戦略の1つが、企業ユーザーにフォーカスしたIP-VPNサービスの提供だ。具体的には、同社の得意とする国際ロ

ーミング技術にIP-VPNの機能を付加し、低コストでセキュアな通信環境を多国籍企業のユーザーに提供しようというのである。

IP-VPNサービスの仕組みはこうだ。グリックは企業にローミング用の認証サーバーを提供し、同時に、社員に「GRIC dial (グリックダイヤル)」というクライアントソフトを配布する。そして、このグリックダイヤルの中にIP-VPNの機能が付加されている。これにより、例えば、社員が米国へ出張した際に自分のPCのグリックダイヤルを起動すると、画面上に提携先の現地アクセスポイントがリスト表示され、それをクリックさえすればインターネットへアクセスできる。そして、社員にユーザーIDとパスワードを入力させることで、企業が設置したファイアウォールまでセキュアな形で経路を保持、ビジネスでも安心して利用できる国際ローミングを実現するのである。

GRIC日本支社長の豊田充氏は、「現在、当社のサービスを利用いただいているエンドユーザーは主に個人ユーザーですが、今後は企業ユーザーに積極的に拡大していきます。というのも、これまではある程度コストがかかっても、グ



GRIC日本支社長の豊田 充氏

ローバルキャリアのネットワークサービス(ATM、フレームリレーなど)を利用することがトレンドでしたが、昨今の景気低迷や1人1台のPC環境が整う中ではネットワークの選定に対する考え方も大きく様変わりしつつあります。グローバルキャリアは自ら通信設備を構築し提供しているため、セキュリティ面で高い信頼性がありますが、一方でコストが高くなってしまいます。これに対して当社のローミングサービスはコストを大幅に抑えることができ、提携先である1万5000以上ものアクセスポイントで自由にローミングすることができます。さらにIP-VPN機能の活用で、セキュアな通信環境も手に入るので」と説明する。

GRICではSIやASPを通じて、IP-VPNローミングを企業に提案していく方針だ。

ホットスポットローミングを実現

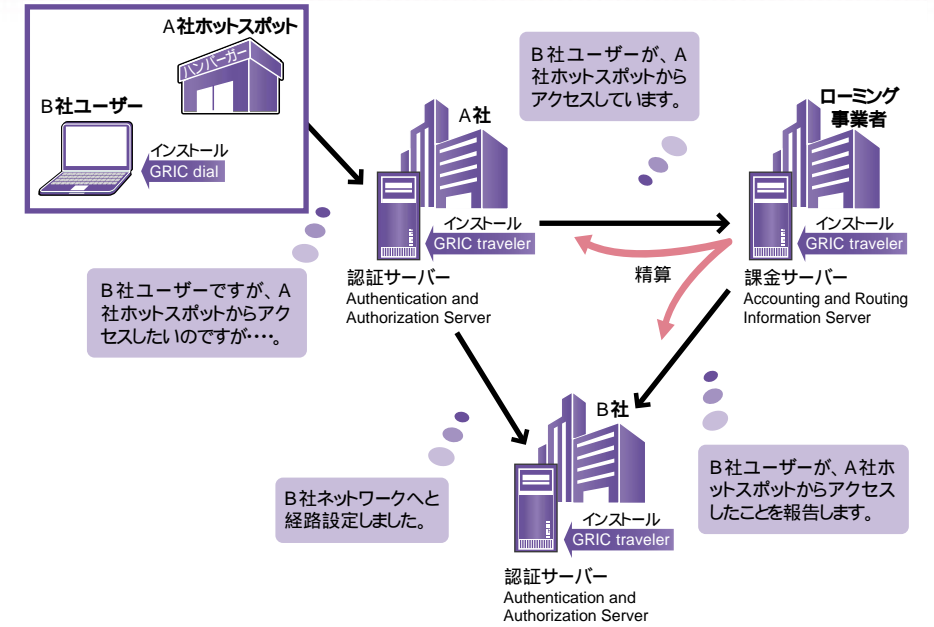
2つ目の柱が、昨今注目を集めているホットスポットへの展開だ。GRICではホットスポットサービスを提供する通信事業者と連携することで、エンドユーザーが街中でもインターネットローミングできるようにしようというのである。

現在、多くの通信事業者などが無線LANを使ったホットスポットサービスを展開しているが、こうした事業者の多くがGRICのローミングサービスを利用するようになれば、エンドユーザーは1枚の無線LANカードでどのホットスポットでもインターネットに接続できるようになるという。まさに画期的なアイデアだが、その下地はすでに出来上がっている。

「GRICの日本における強みは、30社を超える通信事業者やISPとすでに協業関係にあり、各社が国際ローミングサービスを提供していただいている点です。そうしたお客様は当社の認証サーバーをお持ちで、そのシステムをそのままホットスポットサービスに転用することで、ホットスポットからのローミングサービスも提供できるわけです。ですから、当社としてはホットスポットの環境が少しでも早く整うように、積極的に通信事業者に働きかけていくことが重要な活動の1つと考えています」と豊田氏は語る。

ホットスポットローミングの仕組みも極めて簡単だ。仮に各ホットスポット事業者が運営するホットスポットで、他事業者のユーザーがインターネットへアクセスしたとする。すると、

グリックの提供するローミングサービス



GRICが両社に提供している認証サーバーと、グリックが運用する課金サーバーとが連動し、どの事業者のユーザーがどのホットスポットから接続したかを把握する。この情報をもとに、グリック側で両事業者間のローミング代金を精算するのである。

これによって、モバイル環境は劇的に変化する。「最終的には、企業ユーザーがホットスポットでお使いになるケースが増えてくると思っています。というのも、オフィスや自宅での通信環境と、出張先や外出先での通信環境が、今後はほぼ等しく実現されるからです。すなわち、オフィスであっても自宅や出張先であっても、あるいはどこかのカフェであっても、ユーザーはたった1台のPCでストレスなくコミュニケーションが図れるようになるのです。その際、企業ユーザーが一番心配されるのがセキュ

リティでしょうが、当社のIP-VPNサービスを併せてご利用いただければ、セキュアな通信環境も確保することができるのです (豊田氏)。

このように、今まさに夢のようなモバイル環境が実現されようとしている。しかし、そのためにはホットスポットサービスの普及・拡大が大きな鍵を握る。GRICでは、サービスを提供する事業者や関連メーカーと密接なコラボレーションを図り、その夢を積極的に実現していく考えだ。



お問い合わせ先

グリック インターナショナル
コーポレーション 日本支社

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-20
神谷町森ビル14F

TEL: 03-5404-3437
URL: http://www.gric.com
E-mail: japan@gric.com

GRICdialの画面例